



技術資料「水道管の分類と特性（案）」の センターホームページへの掲載について （お知らせ）

水道技術研究センターでは、厚生労働科学研究費補助金を受けて実施した「New Epoch プロジェクト」における成果の一部をもとに、技術資料「水道管の分類と特性（案）」を取り纏め、センターHPの「耐震性改善コーナー」に掲載することとしました。

本技術資料は、管種別の劣化及び破損特性、耐震性などを整理したものであり、水道事業者をはじめ関係者における水道管路耐震化等の取り組みの参考資料として広く活用されることを期待しています。

なお、センターHPの「耐震性改善コーナー」は、以下のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/taishin-corner/taishin-top.html>

(参考)

以下に、技術資料「水道管の分類と特性（案）」の

*表紙

*はじめに

*目次

を、参考までに添付します。

技術資料

水道管の分類と特性（案）

平成 20 年 7 月

財団法人水道技術研究センター

はじめに

本技術資料「水道管の分類と特性について」は、水道技術研究センターが厚生労働科学研究費補助金を受けて、平成 17 年度から平成 19 年度の 3 か年間で実施した研究開発プロジェクト「管路施設の機能診断・評価に関する研究 (*New Epoch* プロジェクト)」における成果の一部をもととしている。

水道では、様々な材質の管が使用されており、また、同じ材質の管でも年代により継手形式やライニングなどの仕様が異なる。このため、本技術資料は、実際に使用された期間や規格制定時期の管材質やライニング等をもとにして、年代別に大まかに分類するとともに、分類された各材質の管路や各ライニング等の施された管路に関して、埋設環境下及び通水環境下における劣化及び破損特性、耐震性能などを整理したものである。

本技術資料が、我が国の水道管路耐震性改善に向けた取り組みの一助となることを期待するとともに、本技術資料の作成に当たって御指導・御助言をいただいた小泉明首都大学東京大学院教授及び作成に御尽力いただいた「老朽管路の計画的更新に関する技術マニュアル」(素案) 作成ワーキンググループの各位に厚く感謝申し上げます。

平成 20 年 7 月

財団法人水道技術研究センター
理事長 藤原 正弘

(参考) 「老朽管路の計画的更新に関する技術マニュアル」(素案)
作成ワーキンググループメンバー

ワーキンググループ長 大岡俊明 日本水工設計株式会社
委員 瀬戸賢治 日本上下水道設計株式会社
委員 船橋五郎 株式会社クボタ
委員 林光夫 株式会社クボタ
委員 松浦範英 株式会社栗本鐵工所

目 次

1	鑄鉄管（普通鑄鉄管及び高級鑄鉄管）	1
1.1	年代別分類	1
1.2	年代分類ごとの劣化及び破損の特性	10
1.3	耐震性	13
2	ダクタイル鑄鉄管	17
2.1	年代別分類	17
2.2	年代分類ごとの劣化及び破損の特性	30
2.3	耐震性	33
3	鋼管	35
3.1	年代別分類	35
3.2	年代分類ごとの劣化及び破損の特性	44
3.3	耐震性	47
4	硬質塩化ビニル管	49
4.1	年代別分類	49
4.2	年代分類ごとの劣化及び破損の特性	54
4.3	耐震性	58
5	配水用ポリエチレン管	60
5.1	年代別分類	60
5.2	年代分類ごとの劣化及び破損の特性	65
5.3	耐震性	67

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等ございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。